

上場会社名 株式会社JMDC

コード番号 4483 URL <https://www.jmdc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 野口 亮

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 兼 CFO (氏名) 望月 智洋 TEL 03-5733-5010

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,746	14.0	3,602	63.2	3,615	61.8	2,663	85.4	2,662	84.4	2,667	84.9
2023年3月期第2四半期	12,060	26.3	2,207	27.4	2,234	30.3	1,436	26.4	1,444	27.0	1,442	26.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	42.20	40.53
2023年3月期第2四半期	25.29	23.86

(参考) EBITDA 2024年3月期第2四半期 3,303百万円 (11.7%) 2023年3月期第2四半期 2,956百万円 (19.6%)

(注) EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	100,000	68,712	68,635	68.6
2023年3月期	98,567	64,524	64,539	65.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	18.7	8,800	48.5	8,750	48.9	6,500	52.1	6,500	52.3	103.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) EBITDA 2024年3月期通期 9,750百万円 (26.3%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	65,301,608株	2023年3月期	62,910,608株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	614株	2023年3月期	574株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	63,094,445株	2023年3月期2Q	57,114,128株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の4ページをご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現する」ことを目指して、日本のヘルスケア業界の多様なデータを結集し、社会に還元することを通じて、生活者の健康増進や医療プロバイダーの価値向上・業務最適化を支援しております。

ヘルスビッグデータセグメントは、健康保険組合の保健事業を推進するため、保険者が保有するデータの分析サービスの他、当社開発のPHRサービスを提供しております。また、医療機関に対しても医療データ分析サービス、診療報酬ファクタリングサービスの他、薬剤DBの提供等を行っております。さらに、こうした業務の付帯として受領した匿名加工情報をデータベース化し、学術・産業利用を進めております。

遠隔医療セグメントは、放射線診断専門医が不足している医療機関と契約読影医を遠隔読影システムでつなぐマッチングサービスの他、医療機関と放射線診断専門医をクラウドでつなぎ、遠隔での画像診断を可能としたASPサービスを提供しております。

調剤薬局支援セグメントは、保険薬局に対してレセコン及び電子薬歴システムなどのシステム開発・販売事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(当期の業績)

(単位：百万円)

区 分	第10期	第11期	比較増減	
	第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		
売上収益	12,060	13,746	+1,686	+14.0%
営業利益	2,207	3,602	+1,394	+63.2%
EBITDA(マージン)	2,956 (24.5%)	3,303 (24.0%)	+347	+11.7%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

区 分		第10期	第11期	比較増減	
		第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		
ヘルスビッグ データ	セグメント売上収益	7,903	9,834	+1,931	+24.4%
	セグメント利益(率)	2,028 (25.7%)	2,492 (25.3%)	+464	+22.9%
遠隔医療	セグメント売上収益	2,439	2,740	+300	+12.3%
	セグメント利益(率)	924 (37.9%)	1,014 (37.0%)	+90	+9.8%
調剤薬局支援	セグメント売上収益	1,843	1,261	△582	△31.6%
	セグメント利益(率)	192 (10.5%)	133 (10.6%)	△58	△30.6%
調整額	セグメント売上収益	△126	△89	+36	—
	セグメント利益	△189	△338	△148	—
合計	売上収益	12,060	13,746	+1,686	+14.0%
	EBITDA(マージン)	2,956 (24.5%)	3,303 (24.0%)	+347	+11.7%

(注) 当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、EBITDAがあります。当社グループは、EBITDAを用いて各セグメントの業績を測定しており、当社グループの業績評価をより効果的に行うために有用かつ必要な指標であると考えております。EBITDA及びEBITDAマージンの計算式は以下のとおりです。

- ・ EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用
- ・ EBITDAマージン : EBITDA/売上収益×100

当第2四半期連結累計期間において、オムロン株式会社が当社の普通株式に対する公開買付けを実施した結果、2023年10月16日をもって、当社の親会社となっております。

なお、当社株式は引き続き株式会社東京証券取引所プライム市場における上場を維持しております。

各セグメントの状況は以下のとおりです。

[ヘルスビッグデータ]

当社グループは健康保険組合より寄せられたレセプト（入院、外来、調剤）、健診データ及び加入者台帳を匿名加工することで、民間利用可能な国内最大規模のヘルスビッグデータを有しております。当第2四半期連結累計期間においても取引先健康保険組合数、利活用先である製薬企業及び保険会社の1顧客あたりの年間取引額はそれぞれ前年同期比ベースで継続して増加しており、事業は拡大を続けております。

また、当社開発の健康情報プラットフォーム「Pe p U p」（ベップアップ）により、上記のヘルスビッグデータに基づいて、一人ひとりのユーザーに合わせた個別アドバイスや疾病リスク表示を行っております。Pe p U pの発行ID数は当連結会計年度においても拡大を続けております。

上記の事業拡大に加え、2023年6月には、業界団体を超えた健康経営の実践に取り組む148社・団体が集結し、「健康経営アライアンス」が本格始動し、9月30日時点で244社・団体に拡大しております。同アライアンスは2023年度中に300社の参画を目指すとともに、健康経営の評価指標の設計、データ分析に基づく健康経営アセスメントの作成、各種ソリューションの情報プラットフォームの構築、勉強会／セミナーの開催等の取り組みをおこなっていくことで健康経営の型づくりと成果創出のためのソリューションの共創および産業界への実装を実現していく予定であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上収益は、9,834百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は2,492百万円となりました。

[遠隔医療]

当社グループは国内最大の放射線診断専門医プラットフォームを有しております。当第2四半期連結累計期間においては、遠隔読影サービスを利用する医療機関数が引き続き拡大した結果、売上収益は前年同期比ベースで増収となりました。

なお、画像診断をアシストする人工知能エンジンプラットフォーム「A I—RAD」の機能追加や中国を含む海外での事業展開を本格化するための準備等、事業拡大のための施策は引き続き進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上収益は、2,740百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は1,014百万円となりました。

[調剤薬局支援]

当第2四半期連結累計期間においては、既存顧客の買換え（リプレース）需要を確保しつつ、新規顧客の開拓に努めてまいりました。調剤薬局を取り巻く環境はデジタル化を進めながら競争が激しさを増しております。

上記の状況の中、当社の調剤薬局支援セグメントの構成要素である株式会社ユニケソフトウェアリサーチ及びその管理目的会社について、2023年6月にその全株式を当社の業務提携先である株式会社EMシステムズに譲渡いたしました。本譲渡により、これまで行ってきた両社の取り組みを更に加速させることでより一層質の高いサービスの提供と、薬局市場において新たな旋風を巻き起こし占有率を高めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上収益は、1,261百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は133百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は13,746百万円、営業利益は3,602百万円、EBITDAは3,303百万円の増収増益となりました。なお、EBITDAから営業利益への調整は以下のとおりであります。

(EBITDAから営業利益への調整表)

(単位：百万円)

	第10期 第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	第11期 第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
EBITDA	2,956	3,303
減価償却費及び償却費	△936	△1,074
その他の収益	203	1,479
その他の費用	△14	△106
営業利益	2,207	3,602

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,433百万円増加し100,000百万円となりました。主な変動として、新規連結子会社の取得等に伴い、のれんが2,277百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が1,260百万円減少しております。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2,754百万円減少し31,288百万円となりました。これは主に、流動負債の借入金が2,037百万円増加した一方で、非流動負債の借入金3,890百万円減少したことによります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末と比べ4,187百万円増加し68,712百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,099百万円増加したことに加え、四半期利益2,663百万円を計上した一方で、配当金754百万円を計上したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,261百万円減少し、21,521百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における税引前四半期利益は3,615百万円となり、前年同期比ベースで1,381百万円増加しております。また、減価償却費及び償却費1,074百万円を計上する一方で、その他の収益1,479百万円、法人所得税の支払額911百万円等を計上した結果、営業活動から得られた資金は、2,025百万円となりました。なお、その他の収益は前連結会計年度まで「その他」に含めておりましたが、重要性が増したことにより見直しを行い、第1四半期連結会計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表の組替を行っております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,628百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,538百万円、無形資産の取得による支出571百万円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、341百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,701百万円、新株予約権の行使による収入2,192百万円を計上した一方で、配当金の支払額754百万円、長期借入金の返済による支出2,121百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年8月9日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2023年 9 月 30 日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,782	21,521
営業債権及びその他の債権	11,241	11,054
その他の金融資産	3,340	3,249
棚卸資産	275	194
その他の流動資産	601	621
流動資産合計	38,240	36,641
非流動資産		
有形固定資産	10,772	11,230
のれん	39,824	42,101
無形資産	5,922	5,396
その他の金融資産	1,597	2,424
繰延税金資産	2,057	1,901
その他の非流動資産	152	305
非流動資産合計	60,326	63,359
資産合計	98,567	100,000
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	994	3,031
営業債務及びその他の債務	5,790	5,506
リース負債	846	855
未払法人所得税	1,201	1,018
契約負債	2,066	2,152
その他の流動負債	1,317	1,183
流動負債合計	12,216	13,748
非流動負債		
借入金	11,935	8,045
リース負債	6,623	6,817
退職給付に係る負債	322	150
引当金	692	429
繰延税金負債	730	716
契約負債	1,520	1,379
非流動負債合計	21,825	17,539
負債合計	34,042	31,288
資本		
資本金	23,994	25,094
資本剰余金	27,211	28,298
自己株式	△2	△2
その他の資本の構成要素	28	25
利益剰余金	13,308	15,221
親会社の所有者に帰属する持分合計	64,539	68,635
非支配持分	△14	76
資本合計	64,524	68,712
負債及び資本合計	98,567	100,000

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	12,060	13,746
売上原価	5,342	6,171
売上総利益	6,717	7,575
販売費及び一般管理費	4,697	5,346
その他の収益	203	1,479
その他の費用	14	106
営業利益	2,207	3,602
金融収益	68	29
金融費用	42	17
税引前四半期利益	2,234	3,615
法人所得税費用	797	951
四半期利益	1,436	2,663
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,444	2,662
非支配持分	△7	0
四半期利益	1,436	2,663
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	25.29	42.20
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	23.86	40.53

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	1,436	2,663
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	6	5
純損益に振り替えられることのない項目合計	6	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△1	△1
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1	△1
税引後その他の包括利益	5	3
四半期包括利益	1,442	2,667
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	1,449	2,666
非支配持分	△7	0
四半期包括利益	1,442	2,667

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業 活動体の 外貨換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株予約権
2022年4月1日時点の残高	9,091	12,483	△2	△4	—	21
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	6	—
四半期包括利益合計	—	—	—	△1	6	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	13
新株予約権の行使	140	140	—	—	—	△1
新株予約権の失効	—	0	—	—	—	△0
新株の発行	14,732	14,558	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△6	—
所有者との取引額合計	14,872	14,698	△0	—	△6	11
2022年9月30日時点の残高	23,964	27,182	△2	△5	—	33

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	合計
	合計	利益剰余金	合計		
2022年4月1日時点の残高	17	9,580	31,170	△5	31,165
四半期利益	—	1,444	1,444	△7	1,436
その他の包括利益	5	—	5	—	5
四半期包括利益合計	5	1,444	1,449	△7	1,442
新株予約権の発行	13	—	13	—	13
新株予約権の行使	△1	—	279	—	279
新株予約権の失効	△0	—	—	—	—
新株の発行	—	—	29,290	—	29,290
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	△565	△565	—	△565
企業結合による変動	—	—	—	△15	△15
利益剰余金への振替	△6	6	—	—	—
所有者との取引額合計	4	△558	29,018	△15	29,002
2022年9月30日時点の残高	27	10,466	61,638	△28	61,610

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業 活動体の 外貨換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株予約権
2023年4月1日時点の残高	23,994	27,211	△2	△4	—	32
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	5	—
四半期包括利益合計	—	—	—	△1	5	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	6
新株予約権の行使	1,099	1,099	—	—	—	△7
新株予約権の失効	—	0	—	—	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	△13	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△5	—
所有者との取引額合計	1,099	1,086	△0	—	△5	△1
2023年9月30日時点の残高	25,094	28,298	△2	△5	—	31

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	合計
	合計	利益剰余金	合計		
2023年4月1日時点の残高	28	13,308	64,539	△14	64,524
四半期利益	—	2,662	2,662	0	2,663
その他の包括利益	3	—	3	—	3
四半期包括利益合計	3	2,662	2,666	0	2,667
新株予約権の発行	6	—	6	—	6
新株予約権の行使	△7	—	2,192	—	2,192
新株予約権の失効	△0	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	△754	△754	—	△754
企業結合による変動	—	—	△13	90	77
利益剰余金への振替	△5	5	—	—	—
所有者との取引額合計	△6	△749	1,430	90	1,520
2023年9月30日時点の残高	25	15,221	68,635	76	68,712

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,234	3,615
減価償却費及び償却費	936	1,074
その他の収益	△203	△1,479
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	616	168
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24	1
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,244	△57
その他	435	△370
小計	2,751	2,951
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△39	△15
法人所得税の支払額	△1,029	△911
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,682	2,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,147	△390
無形資産の取得による支出	△546	△571
貸付けによる支出	△760	—
貸付金の回収による収入	110	0
投資の取得による支出	△106	△122
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	25	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△19,202	△2,538
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	273
その他	132	△279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,494	△3,628
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,330	1,701
短期借入金の返済による支出	△158	△264
長期借入れによる収入	950	28
長期借入金の返済による支出	△570	△2,121
リース負債の返済による支出	△406	△445
株式の発行による収入	29,212	—
新株予約権の行使による収入	279	2,192
配当金の支払額	△564	△754
その他	12	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,086	341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,273	△1,261
現金及び現金同等物の期首残高	13,192	22,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,467	21,521

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは提供するサービスの性質の類似性を勘案し、「ヘルスビッグデータ」、「遠隔医療」及び「調剤薬局支援」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに含まれる主な事業及び主要なサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業	主要なサービス
ヘルスビッグデータ	インダストリー向け事業 保険者・生活者向け事業 医療提供者向け事業	医療データベース（レセプト・医薬品ほか）の開発・提供、医療ビッグデータの分析
遠隔医療	遠隔医療事業	遠隔読影マッチングサービス及び遠隔読影システムのASPサービス
調剤薬局支援	調剤薬局支援事業	調剤薬局向け業務システムの開発・販売

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

セグメント間の内部売上収益は、市場価格や製造原価を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。セグメント利益はEBITDA（営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用）であります。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	7,860	2,439	1,759	12,060	—	12,060
セグメント間収益	42	—	84	126	△126	—
合計	7,903	2,439	1,843	12,186	△126	12,060
セグメント利益						
EBITDA	2,028	924	192	3,145	△189	2,956

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	9,795	2,740	1,211	13,746	—	13,746
セグメント間収益	38	—	50	89	△89	—
合計	9,834	2,740	1,261	13,836	△89	13,746
セグメント利益						
EBITDA	2,492	1,014	133	3,641	△338	3,303

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

EBITDAから税引前四半期利益への調整表は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
EBITDA	2,956	3,303
減価償却費及び償却費	△936	△1,074
その他の収益	203	1,479
その他の費用	△14	△106
営業利益	2,207	3,602
金融収益	68	29
金融費用	△42	△17
税引前四半期利益	2,234	3,615

(重要な後発事象)

(オムロン株式会社による当社株式に対する公開買付けについて)

当社は、2023年9月8日開催の取締役会において、オムロン株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、同日時点における当社の意見として、本公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、本公開買付けに応募するか否かについては当社の株主の皆様のご判断に委ねることを決議いたしました。

なお、当社の上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付けにより、当社を公開買付者の連結子会社とすることを目的としておりますが、当社株式の上場廃止を企図するものではなく、本公開買付け成立後も引き続き当社株式の株式会社東京証券取引所プライム市場における上場が維持されることを前提として行われたものです。

2023年9月11日から実施しておりました本公開買付けが2023年10月10日をもって終了し、公開買付者より、本公開買付けの結果について、当社株式29,051,039株の応募があり、応募された当社株式の総数が買付予定数の下限(12,036,700株)以上となり、本公開買付けが成立した旨の報告を受けました。

この結果、本公開買付けの決済が2023年10月16日（本公開買付けの決済の開始日）付で行われ、当社の総株主の議決権に対する公開買付者の所有する議決権の割合が50%超となったため、公開買付者は当社の親会社に該当することとなりました。